



明けましておめでとうございます。 コロナに一喜一憂した2年がすぎ、今年はどのような年になるのでしょうか。皆さまのご健康を祈りつつ、協会の活動も本来の姿にもどれるよう願っています。

【年頭挨拶】**庭園の奥深さ**

清水 彬久 (理事長)

新年明けましておめでとうございます。私の近況は、朝夕の散歩を日課としています。朝は公園の池に飛来してくる鷺と鴨をバードウォッチング。冬になると三十羽以上の鴨が遊泳しています。夕は芦屋浜の海岸がコースで海と六甲山系を眺めながら沈む夕日や夜景に浸ります。それだけではありません。毎晩茶道の師範である奥様から抹茶を一服いただけるようになり至福の時を満喫しております。

昨年は、コロナ禍のため緊急事態宣言の間六甲山荘を休館する等静かで我慢な年となりました。しかし創立20周年記念事業としては、六甲山荘の屋根の葺き替え、文化遺産信託研究会の発足に続き、門廊部材を利用した室谷邸記念館の開館、公益活動を支援するための一般社団法人 AMENITY CSC の設立が実現できたこと、喜びとするところです。

そのような状況下でヴォーリス記念きょうだいの森の整備をしています。室谷邸記念館を中心にして小寺池と石垣広場を擁する空間は、魅力を讃えてきています。私なりに造園を思索していきますと庭園の奥深さに気付かされてきています。

小説家室生犀星は、随筆集「日本の庭」の序で「庭といふものは甚だ精神的なものであって行けども道は盡きることがない」と日本文化にもたらした崇高な独自性があると総論します。そして、「純日本的な美しさの最も高いものは庭である。一庭をつくるような人は、あらゆる人間の感覚するところの高さ、品の好き、匂ひの深さにまで達する心の用意があることになる」と芸術性にまで昇華させていると述べています。夢窓疎石作庭の苔寺と呼ばれる西芳寺や龍安寺方丈庭園の枯山水に身をおきますと、その観を実感します。疎石は、「山水に得失なし。得失は人の心にあり」と、様々な想いをもって庭園に向かいあうとき、何を得、何を失うかは人の心しだいであると語っています。庭園には心物を一体とさせる不思議な空間を形成しています。

桂離宮では古書院から竹縁の月見台が設けられ、広がる庭池に映える中秋の名月を愛でたといいます。私はふと小寺池から観られるのだろうかとの思いに駆られたのです。その日にあたる9月22日に六甲山荘に上がることにしました。天候を心配していましたが、まず六甲ケーブル山頂駅の展望台では、100万ドルの夜景にくっきり輝く満月を観た後、小寺池からも朧月でしたが同様に確認することができました。同時に闇の中に外灯で映える室谷邸記念館に酔いしれたのでした。今年も挑戦したいと思っています。

2018年にヴォーリス記念きょうだいの森を第2プロパティとして購入しましたが、その動機のひとつが「水が流れている」ことでした。今その流れが小寺池の源流となっています。そこに二つの試みをしています。ひとつは、この清流に蛍を生息させられないかということです。昨秋には蛍の餌であるカワニナを放流しました。長期計画です。もうひとつは、小寺池と室谷邸記念館から眺望できるところに滝のできる石積の造成をおこなっています。今春にはお披露目する予定にしています。

今年は、延期しています室谷邸記念館完成記念会の開催や AMENITY CSC から様々な行事をお届けできるよう知恵を絞っています。ご期待ください。そして創立25周年に向けた事業計画の帆を上げ出航しよう準備を開始したところです。

お知らせ

- #新年会 1月10日(月・祝) 草志舎
- #文化遺産信託研究会主催 枳殻邸庭園(涉成園)訪問 2月11日(金・祝)
- #弥生の茶会 3月5日(土) 草志舎
- #マーマレード作り 3月8日(火) 草志舎
- #ヴォーリス六甲山荘スタッフ研修 3月19日(土)
- #ヴォーリス六甲山荘大掃除と公開準備 3月26日(土)
- #ヴォーリス六甲山荘一般公開再開 4月2日(土)
- #文化遺産信託研究会総会 4月4日(月)



雪化粧した山荘の通路→

* 創立 20 周年事業の報告～ 2 *

<室谷邸記念館の建設>

旧室谷邸の門廊の部材を活用した室谷邸記念館は4月に完成し、公開を始めています。アメニティ・レポート2020でもご紹介しましたが、オリジナルの建具や金具などを活かしたすてきな建物に仕上がりました。内部には室谷邸に関する展示が常設されています。六甲山荘の来場者にも好評で、二つのヴォーリス建築が六甲山荘の魅力を高めています。



<一般社団法人 AMENITY CREATIVE SUPPORT CENTER の設立>

アメニティ 2000 協会を経済的に支える活動を目的にした一般社団法人を設立して、9月に登記しました。アメニティ便り 11月号に貴島普理理事長からの報告が掲載されていますが、メンバーがすでにいろいろな活動のアイデアを出しあい、実現に向けて活発に動いています。昨年12月の京都市京セラ美術館訪問は AMENITY CSC の第1回企画でした。

また会員の長瀬信博さんデザインによるロゴも出来上がりました。右に掲載しています。



第5回～弥生の茶会のご案内

梅の花をながめながら薄茶を楽しむ会です。草志舎の枝垂れ梅が見頃をむかえる時期に、立礼での点前で、作法にこだわらず気軽に一服いかがですか。ご希望の方にはお弁当も用意いたします。

- 月日 **3月5日(土)** 午前11時～午後3時(入場は2時半まで)
- 場所 草志舎(阪急西宮駅から徒歩3分)
- 内容 薄茶席
- 参加費 会員 1000円 一般 1500円
- お弁当 1200円見当(希望者のみ・要予約)
- 申込締切 3月2日
- (お申込みの際 お弁当の有無もお知らせください)



詳細は同封の案内チラシをご覧ください。ホームページにも掲載されています。

ヴォーリス六甲山荘 2021年の実績

今年もコロナにふりまわされた年でした。緊急事態宣言が4月から6月、9月と出たため、公開日数は38日と平年の半分以下になってしまいました。それでも後半に団体が数組あり、10月には六甲山上建築ツアーがあったため、1日平均14人の来場者がありました。どのお客様も山荘での滞在を楽しんでおられ、室谷邸記念館を見た方からは「感動しました!」という感想もいただきました。

今年はコロナがどういう展開になるのか分かりませんが、多くの方にヴォーリス六甲山荘の魅力を体感していただければと思っています。

公開日数	38日
来場者数	546人
一日平均	14.3人
スタッフのべ	112人
1日平均スタッフ	2.8人
スタッフ参加者	23人

ご報告 和のこもの展 11月17日(水)18日(木) 草志舎

春季の開催を2回延期して、ようやく開催されたこもの展です。これまでは開場前に門前に列ができ、会場内では大変な混雑になるのが通例でした。今回は芦屋クローバーのメンバーが三密を避ける方策を考えて、開催時間を4つにわけ、一般への広報はなし、ハガキでの案内のみとしました。また従来アメニティ2000協会が担当していたランチ・喫茶もなしにしました。結果として混雑はおこらず密もさけられ、お客様も落ち着いて買い物ができるようでした。

売り上げの20%をアメニティ2000協会に寄付いただきました。



ご報告 ヴォーリス六甲山荘 大掃除&お疲れ様会 11月20日(土)

休館が多かったとはいえ公開期間を終えた山荘の内外を掃除して、建物にもスタッフにも「お疲れさま！」という行事です。建物内は清掃のあと床にワックスをかけ、ベッドマットレスや家具を片寄せてカバーをかけました。庭やきょうだいの森の無尽蔵の落葉を掃き、案内板、看板や芙蓉の鐘を収納しました。最後に全室の雨戸を閉めました。



ワックスがけのために家具を片付けたリビング

ご報告 ヴォーリス建築文化全国ネットワーク大会 11月23日(火・祝) ヴォーリス学園(近江八幡)



昨年開催できなかった全国大会をようやく開くことができました。ただ現地参加は幹事中心で、会員はネット参加となりました。内容としては本田清春氏(「豊郷小学校の歴史と未来を考える会」代表)と吉岡竜巳氏(「豊郷小学校講堂スタインウェイピアノ」編著者)の講演で、豊郷小学校への想いのあふれた内容でした。

ネットでの参加者もあり、コロナ禍での開催としては盛会でした。なお次回(2022年)は京都バプテスト教会を会場にする予定です。

ご報告 京都市京セラ美術館と「モダン建築の京都」で学ぶ 12月9日(木) 京都市京セラ美術館

オプションでは吉田山の上の茂庵とその下にある谷川住宅群、京都大学人文科学研究所などをまわりました。石畳の道ぞいに斜面にならぶ谷川住宅は景色もよく、風情のある家並でした。

美術館では今回の企画の声をかけてくれた学芸員の土屋隆英さん(会員)が出迎えてくださり、改修にかかわった学芸員の前田尚武氏が熱のこもった案内をしてくださいました。解説も展示も見ごたえがあり、有意義な時間でした。



美術館前で説明を受ける

ご報告 ヴォーリス六甲山荘 冬の作業

・12月4日(土) 石垣広場落ち葉清掃とカバー、滝の石組み

石垣広場に敷きつめた小石の上の落ち葉を取り除き、シートをかけました。これで来春の公開開始のときの掃除が楽になります。また小寺池の上流側に小さな滝をつくらうと、石を組む作業をはじめました。



・12月11日(土) 水道閉栓、給湯器水抜き、落ち葉清掃、滝の石組み



冬季の寒さによる凍結を防ぐため、冬のあいだ山荘の水道は元栓を閉め、屋内の蛇口やトイレの栓ははずしてしまいます。温水器も水を抜いて防寒のための保温カバーをかけます。2人がかりで午前中かけての作業ですが、これをしておくと来春の開栓がスムーズにいくのです。水道閉栓がおわるといよいよ本格的な冬ごもりです。

←カバーのかかった小寺池の島に薄雪がつもっています

六甲山荘たより

10月、11月の六甲山荘

緊急事態宣言がようやく明けての公開でした。また13日から17日にかけては室谷邸記念館建設記念の特別企画として、平日もふくめての連続公開をしました。平日の公開は久しぶりでしたが、特別企画中に71名の来場者があり、にぎわいました。

また浄化槽の送風機に不具合が見つかり、メンテナンスを担当している三共商会に依頼して、送風機を交換しました。

マーマレードをつくりましょう！

熊本の中嶋祐一さんの甘夏を使って今年もマーマレードを作ります。添加物を一切使わないおいしくて安全なマーマレードができます。皆さんから寄付して下さったガラス瓶に詰めて冷凍保存し、六甲山荘で売ったり、希望者にお届けします。このマーマレードをご一緒に作ってみませんか。

3月8日(火) 午前10時～夕方

一部の時間でも結構です。

場所：草志舎（阪急西宮北口駅から徒歩4分）

持ち物：エプロン、包丁

なお昼食は簡単ですが用意します。

おいでになれる方は3月6日までにご連絡ください。

草志舎での忘れ物

先日草志舎で忘れ物に気がつきました。エプロンを3枚お預かりしています。ほりだし市のスタッフの方ではないでしょうか。①黒地に白い小花もよう ②紺色の薄いデニム生地 ③黒地に白い蝶の模様（以前から預かっています）
お心当たりの方はご連絡ください。



紅葉のきょうだいの森で落ち葉掃き

ヴォーリス六甲山荘スタッフ研修と公開準備

六甲山荘の公開にそなえてお客様をむかえるスタッフの研修を行います。スタッフはマニュアルもあって誰にでもできる内容ですが、研修を受けておけば一層安心です。今年の講師は津枝勝見さんです。

研修日は3月19日(土)です。

やってみようと思われる方は前日までにご連絡ください。

また公開準備と大掃除を3月26日(土)に行います。こちらにもご参加ください。

アメニティ・レポートの原稿募集

5月の総会にあわせて「アメニティ・レポート2021」を発行します。そのなかの皆さんの投稿欄「会員の声」への原稿を募集します。ふだん思っていること、気になること、コロナ時代の過ごし方・・・なんでも結構です。友だちにおしゃべりするような気軽な気持ちで文章にしてお寄せください。

字数 400字前後 締め切り 3月末日

FAXでもメールでも郵送でも、事務局までお送り下さい。皆さんの原稿お待ちしております。

募金のご報告 10月～11月

10月、11月に次の方々から募金をいただきました。
ありがとうございました。(敬称略)

*文化遺産継承基金

《10月11月合計 105,990円 2021年度累計
653,193円》